

イルミナティ・インサイダーたちの明かす、エリート集団 の秘密のからくり（2の2）

【訳者解説】どのインサイダーの証言も重いものばかりで、十分な解説はできない。驚くべきは、HiddenHand の語る内容が、「一者の法」に導かれたデイヴィッド・ウィルコックの世界解釈と全く同じだということである。（1）の「秘密の盟約」でもそれがほのめかされていたから、ウィルコックの言う通り、イルミナティ内部の最高の教えが「一者の法」（Ra 資料）から来ていると断定してよいだろう。イルミナティからこのような説教を聞こうとは、おそらく誰も予想していなかった。こんな無意味な殺戮と破壊が、なぜ今、果てしもなく続くのか、我々は不思議に思っている。HiddenHand は、彼らはその意味が分かっているという。意味が分かっているのは我々で、問題は我々自身にあるという。この転倒した言い方から目が開けたと言っているのが、論者の Eliot Estep である。藪から棒に突きつけられたこの問題を、読者は深刻に受け止めていただきたい。

後の 2 つの証言も深刻な意味をもっている。これも、なぜこれほどのことが行われているのか、そこから学ぶべきものとして、我々に与えられている。これだけ大きな地球的苦しみには何か意味があるであろう。ここでも言われているように、唯物論は彼らが仕組んだ毒薬である。

Eliot Estep: “Illuminati Insiders Speak Out About the Secret Workings of the Elite Group”
September 5, 2013

HiddenHand — ある支配者家系の一員

<http://www.illuminati-news.com/00363.html>

“暗黒の者たち”が、これほど効果的に、これほど長く権力を維持してきた理由は、実はきわめて単純である。彼らは、より高い領域と神についての彼らの知識を、一般大衆から完全に秘密にし、一方で大衆には、唯物論や、分離と争いを育むあらゆる思想に、注意を集中させてきた。彼らは、その努力においてきわめて献身的であり、効果的に多数者を支配するという展望において、完全に団結している。これは認めなければならないことだが、ほとんどの人は、本当に自分でものを考えようとせず、誰か他人にそれを任せて平気である。エリートたちには、その責任を押し付けられるのは願ってもないことで、彼らはもう何世紀も前から、人間精神や、人間のより深い傾向についての、彼らの進んだ理解に、一般人が同意する

ように企んできた。一方で、真のエリート家系の者たちは、子孫に対し幼いころから、現実の働き方について本当の教育を与え、彼らは最終的に、一つの重要な分野を専門とするように育てられる。HiddenHand (隠れた手) という名で知られる、自称イルミナティ・インサイダーは、2008 年の Above Top Secret (ATS) のインタビューにこう答えている——
<http://www.illuminati-news.com/00363.html>

この家族の内部には、6つの訓練の科目があり、家族のメンバーの一人ひとりが、ごく幼少期から、そのすべてについて広く訓練を与えられます。我々はすべての分野を経験しますが、各々が一つの専攻分野をもちます。勉学の6つの分野または“学校”は、**軍事、政治、スピリチュアル、学問、リーダーシップ、それに科学**です。現実的に、公的人生の“舞台”に出たときには、**我々は、これらの重要な、主要分野のすべてにおいて、鍵的な地位を占めます**。そこに、共謀的な**メディア機構**と、**金融機関**の占有を付け加えるなら、すべての基礎を固めたこととなります。

文字通りピラミッド型の、トップダウンの権力構造があり、そこでは、すべてが区分けされ、“必要な知識”という観点に基づいて、配置されるということを理解することが重要だ。真の支配エリートは13の本来の家系から発している、そのほとんどは名前さえ我々は知らないが、この人たちが“家族”のコアをなしている。“スピリチュアル”学校の専門家である HiddenHand は、創造の最大のミステリーのいくつかを説明するのに長けており、彼は Lucifer Soul Group (ルシファーの魂集団) の一員で、これは秘密教団で行われているルシファー信仰の多くを説明する集団だと言っている。

このインタビューは、エリートの観点から説得力をもつ、魅力あるもので、私は読者がこれを通読されることを強くお勧めする。彼の2009 - 12年の“予言”は当たらなかったが、それでもそれは、権力者についての私の見方に、永久的な影響を与え、私は、彼らのものの見方をより多く学ぶことによって、現実のより高い理解が得られたように感じている。私はこれによって、実はエリートを許すことができた。なぜなら、より深いレベルでは、我々全部がつながっていて、「一者」の一部であり、実は、すべてが同じチームのためにプレーしているからである。長年、私が心の中に、憎しみと恨みを抱き続けていたことは、甚だしい重荷だったが、今、それを解放する選択をして、私は喜びを感じている。これは地上的観点からは理解し難いことだが、我々が自分の内なる自己を開発すればするほど、我々がどこから来て、どのように我々すべてが繋がっているかが、思い出せるようになる。次のこのインタビューから更に光が得られるだろう——

ATS 記者： 我々は本当に政府によって、家畜と考えられ、そのようなものとして取引されているのですか？

HH: 政府によっては、一般的に言って、その通りです。人々は“**抵当物件**”と考えられています。ゲームのプランに応じて、チェス盤の上をあちこち動かされるポーンです。

「**家族**」はどうかというと、一般の信念とは逆に、**我々の多くはあなた方に、直接、どんな害をも与えるつもりはない**のです。神による運命を、実行し展開するという問題があるだけです。そして我々はこのゲームで、我々の役を演じなければならないのです——創造者によって決められた通りに。多くの点において、実は、**あなた方が、やがて来る「ハーベスト」(穫り入れ)に用意されている**ということは、**我々自身のため**なのです。**あなた方が望むようなやり方で、用意されてはいないかもしれませんが**。しかし、それでも、あなた方は、自分自身の「**自由意志**」の決断によって、我々からわずかの“**助け**”と方向を与えられて、“**ネガティブな極性**”を選択しようとしています。魂は、両極性のどちらの方向へ向かっても、「**穫り入れ**」が可能だと言えます。

ATS: もしそうなら、どうすれば我々は自由の身になれるのですか？

HH: あなたは、この惑星上で受肉しているかぎり、決して「**自由**」にはなれません。あなたがここにいるという事実性そのものが、それを示しています。あなたがここにいるのには理由があり、「**ここ**」は、実は、あなたが考える「**ここ**」ではおそらくないでしょう。どうすれば自由になれるかと言うのですか？ **自分がどこにいるかを突き止めることによって、そして、なぜここにいるかの理解に達することによってです**。あなたは、「**穫り入れ**」がやってくる前に、そうする時間が、急速になくなりつつあります。それをうまくやれない人たちは、**サイクルを繰り返さなければならない**。

<http://www.illuminati-news.com/000-spiritual/html/how-to-fight-the-nwo.html>

ATS: なるほど、では、あなたの家族と仲間のエリートたちは、我々と同じように、この地上の領域に閉じ込められているということですか？ しかし、ではなぜ、この奴隷化する勢力を積極的に増強し援助するのですか？

HH: 理由は、それが、我々がこのゲームにおいて、演ずることを契約した役割だからです。このゲームに“**勝つ**”ためには(あるいはもっと正確に言えば、成功するためには)、我々は可能な限り「**ネガティブな極性**」を持たなければなりません。極端な形の「**自己への奉仕**」です。暴力、戦争、憎しみ、貪欲、支配、奴隷化、民族抹殺、拷問、道徳的墮落、売春、麻薬、これらすべてと、もっと多くのことが、我々の目的に奉仕しているのです——この“**ゲーム**”では、**我々とあなた方の、このゲームでの違いは、我々は自分が“演じている”ことを知っていることです**。“**ゲーム**”について知らず、自分が役者であることを思い出せない人ほど、生きていることが「**無意味**」になります。こ

のような、あらゆる「ネガティブな」事物の中で、我々はあなた方に、道具（手段）を提供しているのです。しかし、あなた方にはそれが見えない。我々がやっていることでなく、あなた方がどうそれに反応するか、これが重要なのです。我々はあなた方にその道具を与えている。あなた方は、それをどう使うかの「自由意志」をもっています。あなた方は責任を取らねばならない。ここには、一つの我々（One of Us）しか存在しません。それを理解すれば、この“ゲーム”が理解できるでしょう。

Svali — サンディエゴでイルミナティのプログラマーだった女性

http://www.bibliotecapleyades.net/sociopolitica/esp_sociopol_illuminati_svali.htm

もう一人の強力なインサイダー情報源は、かつてマインド・コントロールのトレーナーで、現在、離脱者であるスヴァーリと呼ばれる女性である。彼女は自分の知識と、この集団内の経験を詳しく語っていて、一般大衆に対して公表されたものとして、おそらく最も包括的に暴露的なものの一つである。

http://www.bibliotecapleyades.net/sociopolitica/esp_sociopol_illuminati_svali.htm

彼女はその後、あるオンライン上の生き残りグループのコンサルタントとして、カルトのプログラミングや、儀礼虐待に関する問題について、どうすべきか助言を与えている。スヴァーリは、彼女の家族全員とともに、これらカルト集団の一部である“**generational member**”で、これは真夜中に、ほとんどすべての彼らの暗黒の活動を行うものだった。

私は 38 歳まで、このグループで、プログラマーをやっていました。だからその関係で、プログラミングの背後にある、基本的なアジェンダの多くを知っていました。知らなければできませんから。私は他のトレーナーたちに、仕事をもっとうまく、もっと効率的にやる方法を教えていましたが、このグループのかつてのメンバーとして、私は、私を動機づけるこのイデオロギーに完全に“魂を奪われて”いたので、自分の仕事では優等生でした。なぜかって？ 私はこの集団が、自分の子供が活着しているうちに、世界を支配すると信じていたのです。実際私は、私の子供たちが、この世紀の中頃までに実現するはずの「**新秩序**」の指導者になると聞かされていたのです。これは私の子供時代からずっと教えられていたことです。私の両親もそれを信じ、我々の周囲のリーダーたちもそれを教え、信じていました。そして私の見たあらゆるものが、確かに、この目標に向かって邁進する大きな組織と、集中された努力を示していました。

彼女の書いたものは、大きく 2 部に分かれている——「いかにイルミナティ・カルトが人々をプログラムするか」と「アメリカにおけるイルミナティ」である。Part 1 では、http://www.bibliotecapleyades.net/sociopolitica/esp_sociopol_illuminati_svali01a.htm

いかにイルミナティがアメリカで組織されているか、

http://www.bibliotecapleyades.net/sociopolitica/illuminati/svali1_01.htm

あるヒエラルキーの段階でのイルミナティの仕事、

http://www.bibliotecapleyades.net/sociopolitica/illuminati/svali1_02.htm

世界を占領するための彼らの方法論、

http://www.bibliotecapleyades.net/sociopolitica/illuminati/svali1_03.htm

奴隷やスパイ（作員）のマインド・プログラミングについての広範囲な知識、

http://www.bibliotecapleyades.net/sociopolitica/illuminati/svali1_04.htm

や、さらに多くのことが説明されている。Part 2 では、

http://www.bibliotecapleyades.net/sociopolitica/esp_sociopol_illuminati_svali01b.htm

さらに突っ込んで、イルミナティとは何か、そのハリウッドへの影響、フリーメイソンとの関係、儀礼虐待といけにえ、「最高世界評議会」（Supreme World Council）、この集団の将来の目標、等々が詳細に説明されている。彼女の書くものはみな簡潔で、正直で、要領がよく、私はそれらを高く推奨する。そこには、この論文でここにリストされた以上の多くの情報が含まれ、これらの活動の深さと幅広さについて、かなりの実情を知ることができる。

リーダーシップのレベルには、実業家、銀行家、地方共同体の指導者が含まれます。彼らは聡明で、高い教育を受け、彼らの教会の活動家です。地方指導者評議会の上に、地域指導者評議会があり、これが下の各グループに指令を与え、各地域の政策やアジェンダの策定を助け、また地方指導者評議会と交流しています。国家レベルでは、これらの目標の財政を負担し、外国のリーダーたちと交流する、途方もなく金持ちの人々がいます。イルミナティは国際的です。もちろん秘密の組織です。子供たちが“家族または結社”と呼ばれているものから教えられる最初のことは、「結社の第一のルールは秘密厳守」です。これが、もっと多くの逃げ出した生き残りの人々の、うわさを聞かない理由です。口外しないように仲間たちを脅迫するのに、この集団がどれほどのことを行うかは、信じられないほどです。

私は何度か、ニセの処刑場面を見ましたが（彼らはこれをよくやるのです）、ここでは、子供たちに秘密を言わないように教えるために、ある人が“火炙りの刑”に処せられます。彼らは、この人が秘密を口外した裏切者で、いま処刑されているのだと教えられます。（この人は実は裏切者ではなく、防火服を着ているのですが、焼かれながら叫ぶ人の光景は、3、4歳の子供にとっては、一生残るものです。）そして彼らが大人になって、確実に逃げ出したときでも、このような光景を見たことによって、発見され処刑されることを恐れて、多くの人に話さないようになるのです。

私は、成人してからトレーナーとして、たくさんのニセ場面を作ることに加わったので、

少しばかり冷笑的になり、その結果、暴露するようになったのです。もっとも現在でも、強烈な恐怖と戦うことがあるのは確かです。木の箱に、ほんのしばらく（数分でよいのですが、4歳の子供には永遠と感じられます）閉じ込められる想像をしてみてください。そして蓋が開けられて、「今度同じことをしたら、永遠に閉じ込めるぞ」と言われたとします。子供は泣き叫んで、「絶対に、絶対に言わない」と言うでしょう。私がおその子供でした。そして今、私は、心理的脅迫のもとに誓ったその誓いを破っています。なぜなら、私の経験したこと、また他の子供がさせられているのを見たことを、他のどんな子供にも経験させたくないからです。——Svali, “Who and What is the Illuminati?”
http://www.bibliotecapleyades.net/sociopolitica/illuminati/svali2_02.htm

Cathy O'Brien — MK ウルトラ性奴隷

もう一人の、心の張り裂けそうな証言の貴重な情報源は、キャシー・オブライエンである。彼女はかつての、“大統領のモデル” 女王と言われた、マインド・コントロールされた性奴隷で、*Trance-Formation of America*（「アメリカの変貌」と「アメリカのトランス状態形成」の両義がある）という本で、彼女の経験の最も詳しい、恐ろしい話の一つを語っている。

<http://www.amazon.com/Trance-Formation-America-Cathy-OBrien/dp/0966016548/>

この本は PDF オンライン版で、ここで入手できる。

http://wikispooks.com/wiki/File:Tranceformation_america.pdf

これは自分で読まなければ、これらの家族、集団、結社の内部で犯された、悪の幅広さと悪徳性を十分に理解することはできない。しかし、もし読む時間がなければ、彼女のあけすけに語ったビデオを、ユーチューブで見ることができる。

<http://www.bibliotecapleyades.net/sociopolitica/transforusa/transformation.htm>

これは、80/90年代の、そしておそらく現在も続いている、ホワイトハウスの権力の、本物の隠された側面を明らかにするであろう。彼女はここで、アメリカ史上最大の家族のビッグネームと、彼らの曲がった活動のいくつかを暴露している。ここには“The Most Dangerous Game”（最も危険なゲーム）または「人間狩り」が含まれている。これは下のビデオで短く説明されている。キャシー・オブライエンは、この種の残虐行為の犠牲者の最初でも最後でもないであろう。しかしこの真実が、万人の目と耳に対して明らかにされたことは重要である。それは今日まで続いているからである。

<https://www.youtube.com/watch?v=ugx64jiqkaE>（ビデオ）

私がこの情報を公開するのは、あなたを怖がらせるためでなく、こうした行動が、いかに広く、かつ巧妙に行われているかを知ってもらうためである。その目標は、彼らと直接戦うこ

とでなく、我々の手に入る最も強力な武器——我々の個人的意識——を使うことである。これは何の脅威も与えないようだが、我々がもっている最も強力な道具だ。なぜならそれは我々の存在の本質そのものであり、それこそが、世界に本物の変化を創り出すことができるからである。我々が内部から我々自身を変えるとき、外側の現実もまた変わり始める。だから本質的には、これはすべて「内部犯行」である。この現実の暗さにまともに直面することが肝要である。そうしないと、どうして我々がこの重要な時期にここにいるかの、本物の理解ができないだろう。

我々と、我々の内なる霊的な知性とのつながりが、これから先、確信をもって見、知り、行動することを可能にしてくれるだろう。権力者たちは、我々の力を殺ぎ、恐怖や、他の進んだマインド・コントロール戦術によって、我々を支配する最善の力を行使し続けるだろう。彼らは、ある新しい世界秩序へ向かって進んでいるが、成功するには我々の同意が必要になる。しかし、我々の内部の「知識」によって、我々が強くなるほど、我々はよりはっきり目が見え、これに抵抗することができる。もし我々が、この先の時期にうまく対処するつもりならば、我々は自我を黙らせ、我々の霊に触れることが肝要となる。我々の意識を高めること、より大きく目覚めること、そして強化された責任ある行動を取ることは、我々の生まれながらの権利である。我々が生まれてきたのは、他者に奉仕するため、そしてこの惑星とこの人類を進化させるためである。それ以外の目的でここにいるのではない。

<http://stepstoknowledge.com/>

できるだけ多くを学び、あなたのここにいる目的に向かって、建設的な前進をすることに時間を使うべきである。我々は、すべてを解き明かすために生まれてきたのではなく、この事物の壮大な機構の中で、それぞれが果たすべき役割を与えられている。あなたのここでの旅の間、あなたに祝福があり、「知識」が導きとなって使命を果たされ、その準備ができたとき、全体的完全性（Wholeness）へと帰られますように。

愛をこめて、
エリオット